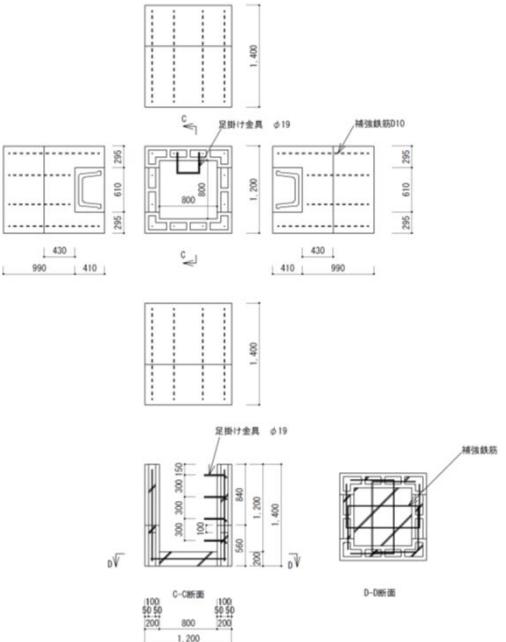
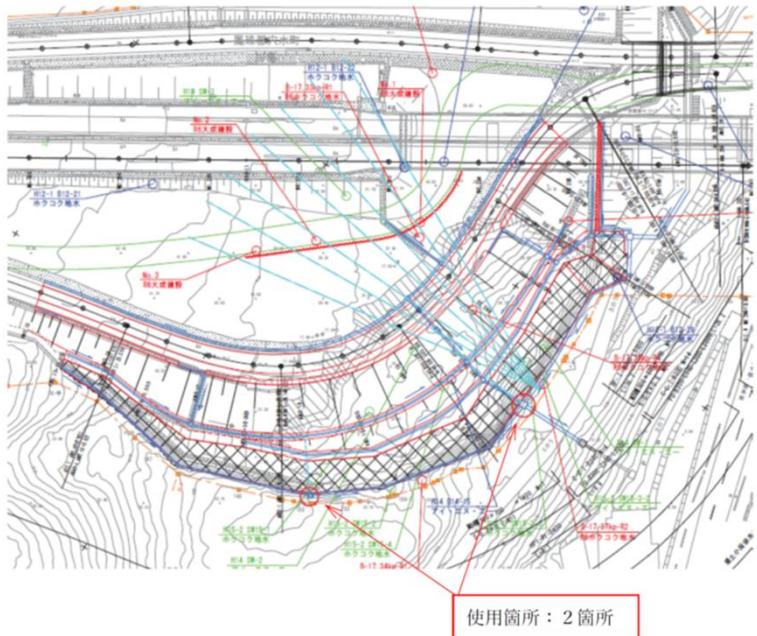


- 工事名: R6 能越道穴水道路復旧その2工事
- 活用企業: 鹿島・吉光・能登JV(施工)、株式会社 ホクエツ北陸金沢工場(製造)
- 開発企業: 株式会社 Polyuse (NETIS番号 [KT-230174-VE](#))



## ■本工事箇所での課題

- 奥能登地域では災害復旧工事が全面的に実施されていることから慢性的な作業員不足が続いている。型枠工などの専門性が高い作業員は特に確保が難しい状況。
- 集水枠を設置するため、クレーン車を設置する広い施工ヤードの確保が必要となるが、現道の交通を確保しながらの施工となることや地形が急峻なため、施工ヤードの確保が難しい状況。

## ■3Dプリンタの効果

- 型枠なしでモルタル練り混ぜから造形を3Dプリンタが自動で行うため、省人化や工期短縮が可能となり、作業員不足解消のほか奥能登地域の復旧・復興を加速。
- モルタルにより造形した型枠を分割して製作し、集水枠の中詰めコンクリートを現地設置後の後打ちとすることで軽量化が図られるため、枠設置時の施工ヤードを縮小できる。

## ■3Dプリンタの課題

- 従来工法(現場打ち)に比べコスト高(※但し、需要が増えることでコストは低くなる)